

面接当日の無連絡キャンセルを減らす

プラスアルファ 齋藤裕樹

「くら応募があっても、実はその後
の対応も非常に大切です。面接日
が決まっても、当日に面接のキャンセ
ルが起るためです。その多くは、(無
連絡キャンセル)です。これは、せっか
く集めた応募者に逃げられたというだ
けでなく、面接担当者の時間(予定)を
狂わせ、人時生産性を著しく下げます。
今回は、無連絡キャンセル数を減らし、
かつ優秀な応募者を囲い込む方法をお
伝えいたします。これからお伝え
することは、普通に考えれば
あたりまえのことです。あ
たりまえのことを「てま
ひま」かけて行うこと
が大切なのです。なぜ
かというと、明日や明
後日の面接ならともか
く、それより先の日時とな
ると忘れてしまう応募者が
多くなるからです。

手法1 スピード感を持つ

応募者が現在仕事をしていない場合
は、とにかくスピードを最重要に進め
る。応募があつてから3日以内で面接
できなければ、無連絡キャンセル率は一
気に高まります。面接の問い合わせが
あつたら、「書類(履歴書や職務経歴書)
は何もいらぬし私服でいいから、今
日来てください」という(すっぴん面接)
に来ていただくくらいスピード感が

人こそ資源! 採用と定着の工夫



重要です。来てもらつたらその場で自
社エントリーシートを記入してもらい、
それを見ながら面接を進めます。

手法2 応募者に過保護に

応募者が現在仕事をしている場合
は、過保護に進めることが重要です。
まず、面接当日の詳細を記載した案
内を応募者に送ります。メールアドレス
がわかる場合はメールで、わからな
い場合は携帯番号へショートメール
(SMS)でも結構です。その際の
必要事項は5つです。①日
時、②面接場所とルート、
③地図の記載があるサ
イトURL、④持参し
てもらふもの、⑤採用
側の緊急連絡先と担当
名です。これで終わりで
はありません。応募日か
ら面接日の間があくほど、当
日の無連絡キャンセル率は高まり
ます。ですから、面接前日に電話かメー
ル、SMSで面接日時の確認をするこ
とが必要です。

このとき、最後にメールなどを使用
し、万が一面接が難しくなった場合の連
絡先とメッセージを送ります。文言は
「〇〇時の面接が万が一お難しくなっ
た場合は1回まで日程変更できます」
という内容にします。在職中の方など、
忙しい人ほど日程変更が起こり得ま

す。そして在職中の多くの方は、面接の
日程変更に対してネガティブなイメー
ジを持っていて、「約束した日に行けな
い、もう面接ができない」と考えがちで
す。ですから、この文言を添えることが
必要なのです。

手法3 応募者の都合優先

即日の面接ができないのであれば、
面接日時は応募者の都合に合わせるこ
とが絶対です。応募者から3候補日時
をもらい、その場で決めることです。ど
うしても面接担当者との日程が合わな
いのであれば、別の社員が面接を担当
できるようにマニュアル化するべきで
す。ここまで面接までの対応に「てま
ひま」をかけ、やり切ることで、応募者
が増え無連絡キャンセルの率が減り、
優秀な人材と出会えるのです。無連絡
キャンセルが減りますから、面接担当
者は予定を組みやすくなります。
ぜひ次回からの面接で運用して頂き
たいと思います。



さいとう ゆうき 株式会社プラスアルファ
人材紹介事業部 民協協認定 職業紹介士
営業コンサルタントとして営業支援のほか、人
事評価制度・社内不正防止策定など、幅広い
支援を行い、組織の円滑化に取り組んでいる。
パチンコ転職サイト「パチンコ転職ナビ」運営の
総責任者も務める。http://www.hpa.co.jp/